

キャンパスに向う
全体像が見えない
終わりのない描写
それは人生そのもの
果てしなく時を忘れて
空白がなくなると
すべて塗りつぶす
何のために
目標なんてない
ただ惰性に流され
描き続ける
苦しみから解放されるとき
喜びがあるだろうと
それははかない夢
再び新しいキャンパスに向かう
苦しみからの解放を求めて
そこに奇跡が起こらない限り
繰り返される